

教育会だより

平成30年7月号

教育会あり方検討委員会
発行

更埴教育会ホームページアドレス <http://www.ckm.janis.or.jp/~koushokukyoku/>

更埴教育会総集会



参加者全員による「信濃の国」の合唱

開会行事では、更埴教育会会長の久保田先生の挨拶に引き続き、信濃教育会会長代理 信濃教育会教科用図書研究部部長の前田好文先生よりご祝辞をいただきました。また、先輩の先生方など多くの皆様にご来賓として出席いただきました。

本年度は会員約220名、一般参加者約30名、計250名余りの参加者でした。



久保田英雄先生

開会行事の後は、更埴保健体育教育研究会と国際理解・英語研究会より、活動の様子について発表がありました。

更埴保健体育教育研究会の発表では、戸倉上山田中学校の井浦徹先生より、これまでの授業実践をふり返りながら、教材・教具の開発、それらによる子どもたちの育ちの姿など、研究の成果を話していただきました。



更埴保健体育教育研究会



国際理解・英語研究会

国際理解・英語研究会の発表では、埴生中学校の近藤武彦先生より、英語を使う実感のある学習の工夫やデジタル教科書を使つての授業の提案など、これまでの研修の内容を話していただきました。各研究会が、自身の資質・技能を高めるため、そして目の前の子どもたちのため、研究・研修を重ねていることが分かりました。

続いて更級小学校の林崇広先生より「教育視察を日々の実践に生かす」と題して視察報告が行われました。

また、会員意見発表では、屋代中学校の三井孝昌先生より、

「教育研究所の研修・その後」について発表がありました。どちらの先生も、自分の学び、経験、実践に基づいた力強い発表でした。



視察報告



会員発表

講演会

『出会いの人生から学んだこと』

菊地 幸夫 先生

今年度の講演会は、弁護士の菊地幸夫さんを講師にお迎えし、『出会いの人生から学んだこと』と題してご講演をいただきました。お話によると菊地先生は、弁護士業をしながら、地域の子どもたちにバレーの指導をしたり、また大学で教鞭をとったり、とても精力的に活動されているそうです。そんな子どもたちや学生と関わる中で抱いた疑問「自分で考える力、そして、自分の考えを話して伝える力はどうすれば育まれるのだろうか」について、バレーボール指導者としての目線から、また弁護士としての目線から先生の考えをお話いただきました。お話の中で、「自分の考えを持ち自分の言葉で伝える力を身につけることは、就職のためだけではない。自身の生活を豊かにするために必要だ」という言葉が印象に残りました。



新入会員歓迎会・懇親会

総集会終了後、更級教育会館において新入会員歓迎会・懇親会が行われました。本年度も昨年度同様、新入会員を含め約90名の参加があり、教育会館の2階は熱気であふれていました。日頃なかなか話す機会がない他校の先生方と情報交換をしたり、来賓・顧問の先生方とじっくり話をしたりするなど、参加者にとって有意義な時間となりました。



懇親会出席の会員・新入会員のみなさん

教育研究会の紹介 その1

【更埴保健体育教育研究会】

更埴保健体育研究会は、5月に会員数32名で発足し、活動をスタートしました。今年度も、「日常の体育授業の底上げ」をめざし、活動を進めています。

主な活動として、月に1度定例会を行っています。年度当初に研究授業校を決め、授業づくりを定例会で進めています。今年も定例会から信州大学の藤田先生を講師に招き、秋には、授業公開を通して学び合います。また、どなたも参加できる夏の教材研修会を予定しています。これまで、ボール運動、球技の教材を紹介し、現場でも活用してもらっています。多くの先生方（特に小学校）に参加してもらいたいです。



【更埴美術教育研究会】

本年度は19名で発足した更埴美術教育研究会です。美術教育研究会では、毎年11月末から12月初めにかけて屋代の「アートまちかど」にて「更埴地区児童生徒図工美術作品展」を開催しています。今年で15回目になり、地域に定着した展覧会となりました。展示される作品は、「長野県児童生徒美術展」「今を生きる子どもの絵」の入選作品。たいへん見ごたえのある展覧会になっています。日々の図工・美術の授業実践に生かせるようなヒントも見つかるかもしれません。ぜひ見に行ってください。

(下は「長野県児童生徒美術展」の審査風景。)



【更埴里山登山研究会】

本年度は、会員32名でスタートしました。春は、上山田小学校から岩井堂山に登りました。信越線や国道から見る岩井堂山は、綺麗な円錐形で地元の富士山のように美しい山でした。また、秋の10月20日(土)、東小学校からこの地域の富士山である鷲尾山(倉科将軍塚古墳・土口将軍塚古墳)に登る予定です。東小学区に「富士見橋」という橋がありますが、この橋から北東方面に見える山が富士山のように形が良く見えることから倉科地区の方が親しみをもって名付けた橋のようです。みなさん、会員と地域の富士山に登ってみませんか?紅葉の美しい頃、大勢の参加者と親睦を深めることを楽しみにしています。会員以外の方も振るってご参加ください。



【更埴総合・生活科教育研究会】

【更埴国際理解・英語研究会】

本年度は、会長に町田秀敏先生(戸倉小学校長)を迎え、31名の会員で発足しました。会員構成も、以前は中学校の先生方が多かったのですが、小学校の先生方の加入が増えてまいりました。中には、今年度本採用になった先生や支援員の先生、英語教育コーディネーターの先生など多岐にわたっています。

中学校の先生方はもちろん、小学校5、6年生における英語教科化、3、4年生での外国語活動の導入に向けて不安を抱えていらっしゃる先生方が、気楽に参加して学べる研究会を目指しています。

夏の研修会のご案内 日時：8月3日(金)
9:30~11:30(受付9:10~)
会場：戸倉小学校(音楽室)
内容：明日から役立つ授業の基本
講師：酒井 英樹 先生(信州大学 教授)
会員以外の方もふるってご参加ください。

【今後の掲載予定】

教育会だより2号(10月発行)

今年度は会員数17名で発足しました。6月に行った発足会では、東小学校の岡村穂乃花先生、屋代小学校の矢嶋泰介先生、南条小学校の宮澤千鶴先生から、4月5月を子どもたちとどのようにスタートさせたか実践報告をしていただきました。そして、子どもが動き出すとは、どういうことなのか、また、その姿を見た時、教師はどんな立ち位置でいればいいのか、考え合いました。

8月に行う夏の研修会では、これまで「ヤギ乳のチーズケーキ作り」「草木染め」「カイコの繭からとった生糸での“ランプシェード”作り」をしてきました。今年は「大豆の豆腐づくり」を計画し、教師が「材の持つ魅力に触れ、材の価値を考える」ことのできる教材研究の場を設定していく予定です。



- ・国語教育研究会
- ・算数数学教育研究会
- ・音楽教育研究会
- ・書写書道研究会
- ・家庭科技術家庭科研究会
- ・パソコン研究会

教育会だより3号（12月発行）

- ・社会科教育研究会
- ・理科教育研究会
- ・道徳教育研究会
- ・地歴民族研究会
- ・哲学研究会
- ・陶芸教材研究会
- ・特別支援教育研究会
- ・人権同和教育研究会



夏休み以後の教育研究会の研修会お誘い

研究会名	期日	内容	問い合わせ先
地歴民俗研究会	8月2日(木)	軽井沢の文化財をめぐる	屋代中 小山堅治 272-0276
総合・生活科教育研究会	8月2日(木)	大豆から豆腐を作る	南条小 白石裕順 0268-82-3141
道徳教育研究会	8月2日(木)	「特別の教科道徳」の実践と評価について	附属屋代中 春日秀紀 272-9201
コンピュータ利用研究会	8月2日(木)	実践テクニックの伝達	五加小 大久保欽章 275-0643
算数数学教育研究会	8月3日(金)	算数の指導案作り	八幡小 岡田芳宣 272-1209
家庭科・技術家庭科研究会	8月3日(金)	「ねずこん御膳」調理実習	戸上中 安藤利長 275-0069
国際理解・英語研究会	8月3日(金)	明日から役立つ授業の基本	埴生中 近藤武彦 272-0015
書写書道研究会	8月6日(月)	作品制作	戸上中 名取さゆり 275-0069
理科教育研究会	8月6日(月) 7日(火)	千曲川源流 天文関係施設見学	附属屋代中 倉石和洋 272-9201
社会科教育研究会	8月～9月	小中学校公開授業	治田小 小川良平 272-1054
音楽教育研究会	9月9日(日)	合唱講習会	戸倉小 伊藤いずみ 275-0072
里山研究会	10月20日(土)	秋の登山	埴生小 小林正和 272-0158